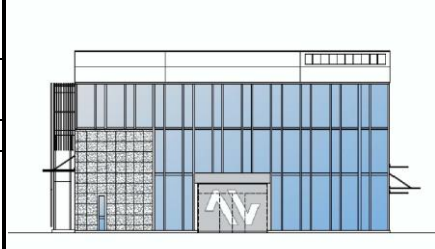


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉高2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アドバンス本社・工場新築工	階数	地上2F
建設地	埼玉県新座市(仮換地)新座都市計	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,349 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2018年5月9日
敷地面積	5,545 m ²	作成者	渡邊 敦
建築面積	2,286 m ²	確認日	2018年5月9日
延床面積	2,970 m ²	確認者	渡邊 敦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。		その他 0
Q1 室内環境 内装材はF☆☆☆☆を使用することで配慮している。	Q2 サービス性能 電源設備の浸水による停電を回避する対策を講じた。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地づくりに配慮した。
LR1 エネルギー 屋根に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可能。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量の抑制により地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)アドバンス本社・工場新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境			0.30		-		3.0
1 音環境		3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境		3.0	0.35		-		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-		
1 室温		3.0	0.38	3.0	-		
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境		2.8	0.25		-		2.8
3.1 昼光利用		2.4	0.30		-		
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口			-	3.0	-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-		
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境		3.5	0.25		-		3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気		3.0	0.30		-		
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理		3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能			0.30		-		3.0
1 機能性		2.8	0.40		-		2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33		-		
3 内装計画		1.0	0.33		-		
1.3 維持管理		3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高: 1階5.65m、2階4.0m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 0.15	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.81	2.9	0.63	-	-	2.9
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率: 91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート


■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)アドバンス本社・工場新築工事	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.3	+	2.3	=	5.6	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.3
工場(一部に事務用途あり)として、標準的な仕様として計画しました。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
地上部の緑地は、敷地境界付近に重点的に配置しました。			

 : 入力欄